

2023年6月30日

株式会社 千葉銀行

東日本都市開発株式会社向け「ちばぎんSDGsリーダーズローン」の取組みについて

千葉銀行(頭取 米本 努)は、2023年6月30日(金)、東日本都市開発株式会社(代表取締役会長 山岡 幸夫、代表取締役社長 伊能 博、本社：千葉県船橋市)に対して、「ちばぎんSDGsリーダーズローン(サステナビリティ・リンク・ローン型)」を取り組みましたのでお知らせします。

「ちばぎんSDGsリーダーズローン」は、サステナビリティ経営を積極的に実践しようとする事業者さまが、事業規模や経営実態に合わせて有効な目標等を設定する融資制度です。

貸出先の東日本都市開発株式会社は、関東エリアで不動産賃貸事業、太陽光発電及び航空機リースなど幅広い事業展開をしています。また、「政府の政策と時代の変化を迅速に察知して事業化していく」を経営理念に掲げ、地域社会に貢献するとともに、2021年には、日本SDGs協会より「SDGs事業認定」を取得しており、太陽光発電の普及や優れた保育、教育が可能な建築物の創造、プラスチック製品の削減にも取り組んでいます。

今回、SDGs達成の取組みとして、自社保有の太陽光発電設備の発電容量増加目標を策定しました。目標達成時には当行が金利を優遇することで、お客さまの目標達成に向けた動機付けを行い、お客さまのサステナビリティ経営を後押しします。

当行は今後もグループ一体となって、サステナブル・ファイナンスを提供することで、お客さまや地域社会のパートナーとして、社会・環境問題の解決に資する取組みを一層推進し、持続可能な地域社会の実現に貢献してまいります。

【案件概要】

貸出先	東日本都市開発株式会社	資金使途	運転資金
契約締結日	2023年6月30日(金)	融資金額	100百万円
融資形態	証書貸付	第三者評価機関	株式会社ちばぎん総合研究所

【本件のSPTs^{※1}について】

設定内容	目標内容
保有太陽光発電設備の発電容量(KW)	2031年度までに2022年度 ^{※2} 比82.44%の増加 (各年度のSPTは下表の通り)

2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	2031年度
2794.04KW	3028.50KW	3263.95KW	3497.41KW	3731.87KW	3966.33KW	4200.78KW	4435.24KW	4669.70KW

※1 SDGs・ESG戦略における事業挑戦目標(サステナビリティ・パフォーマンス・ターゲット)

※2 2022年度(2022年6月~2023年5月)の太陽光発電設備発電容量2559.58KW

以上